



学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

新派遣教員紹介！

4月8日に新派遣教員が無事着任してから、まだ3週間ほどしか経っておりませんが、早くマナウスでの生活に慣れて、それぞれの先生方の持ち味を発揮してくれるものと思います。

○須田 功教諭 (群馬県教育委員会からシニア派遣)



群馬県の出身です。すぐ近くに伊香保温泉、草津温泉等があります。小さな温泉も数多くあり、よく入りに行きました。小学校で約20年、中学校で約10年勤め、ともに担任経験があります。

自分の子どもたちも日本人学校で学び、その時の体験を生かしながら成長してきました。そこでまた、日本人学校の子どもたちのために役立てたらと思っていました。以前勤務していたマレーシアと気候環境の似たこのマナウス日本人学校に縁があって赴任できたことを喜んでます。

マナウスの印象は、大きな都市であることにまず驚きました。また、整然としたビル群と並列して環境整備の進んでいない地域が混在していることにも驚いています。着任以来、お会いした人たちは皆フレンドリーで、安心感が増しました。

日本人学校や子供たちの印象は、礼儀正しく素直な様子に感心しました。また、集会なども児童の委員を中心に、多少の間延びはあっても自分たちで進めていこうとする様子も偉いなと思いました。少人数であることで互いに気を使いながら生活することもあると思いますが、みんなが仲良く、元気に学校生活を送っている様子に赴任に当たっての不安が和らぎました。これからよろしくお願ひします。

○小野寺 裕美教諭 (兵庫県教育委員会から派遣)



兵庫県から派遣されました、小野寺裕美です。私は、生まれも育ちも兵庫県の明石市です。明石には、世界一の吊り橋「明石海峡大橋」があり、東経135度に位置し日本の標準時の町です。温暖な気候で瀬戸内海に面しているため、タコ・タイ・海苔でも有名です。明石市の教員として30年が過ぎました。地元を離れたマナウスで、今まで経験してきたことをもとに頑張りたいと思っています。体を動かすことが好きで、食べるのが好き、子どもたちの笑顔と一生懸命に取り組む輝く瞳が大好きです。

マナウスの印象は、マナウスの町に着いて、大きなきれいな町だとびっくりしました。そして、今までに経験のない突然の大雨に雷、聞きなれない鳥の声、町のあちこちにジャングルを思わせる木々など驚きと感動がたくさんです。また、初めて出会うブラジルの方々が、「Bom dia」と笑顔で挨拶してくれることにドキドキしながらも、私を迎え入れてくれていると温かい気持ちになりました。

日本人学校や子供たちの印象は、校庭に咲くプルメリアの白い花 (ポルトガル語でなんていうのかな) がたくさん咲いているマナウス日本人学校に毎日通えることにワクワクしています。毎日落ちていた花をひとつ職員室の机の上に置いて眺めています。初日、着任式で出会った皆さんの姿勢に驚きました。低学年から中学生まで、みんな背筋をピンと伸ばして椅子に座っていました。普段から姿勢や礼儀に気を付けているのだろうと感心しました。また、初めて会う私に笑顔で元気に挨拶をしてくれたり、わからないときに尋ねると優しく教えてくれる人がいたり、マナウス日本人学校の仲間になれたと嬉しくなりました。

○横山 大祐教諭（岐阜県教育委員会から派遣）



岐阜県から派遣されてまいりました、横山大祐です。生まれてから高校生活を終えるまでを小さな「村」で過ごしました。中学校までは学校も小規模でしたので、マナウス日本人学校には親しみを感じています。日本では小学校で6年、中学校で5年の勤務経験があります。趣味はスポーツ、音楽、映画鑑賞です。

マナウスは、熱い地域だと聞いていましたが、朝と夜は意外と涼しくて驚きました（今は長袖を着て寝ています）。また、人が温かいと感じました。通勤時、荷物を重そうに持っている私を見て、「乗せていこうか？」と知らない方に声をかけてもらい、嬉しかったです。店で注文に困っているときにも、誰かが英語で話しかけて助けてくれます。

子供たちは、授業で分からないことがあると一生懸命考え、分かった時には「ああ！」と感動できるその感性がすてきだと思います。また、高学年は学校のために率先して動き、低学年は年上の人からの指示を聞いて動けるところも、一丸となっていて素晴らしいです。これから数々の行事で一つになっていけることが楽しみです。

新入生・転入生紹介 ～ようこそ マナウスへ～

新しい仲間ができました。これからみんなと仲良く勉強や運動に、そして遊びにと、楽しく学校生活を送ってほしいと思います。

- I.K さん（小1） ○S.S さん（小1） ○A.T さん（小1） ○M.Y さん（小1）
- N.Y さん（小1） ○W.Y さん（小1） ○K.Y さん（小3） ○M.T さん（日本文化・小2）
- H.U さん（日本文化・小3）

今年度の在籍児童生徒数は、全日コース 32 名、日本文化コース 14 名の合計 46 名となります。

5月行事予定

危機管理：避難訓練～日常が大切～

4月13日には不審者対策の避難訓練、そして、4月20日には、スクールバスに不審者が近づいたときの避難訓練を実施しました。

避難訓練は、現地スタッフやガールダーと事前の打ち合わせし、「電話で事件・事故発生の連絡」、「学校からの指示等の連絡報告」等、実際の対応について確認を行いました。子供たちには、実際の事件・事故を想定させながら、避難の仕方を訓練しました。最後の講話では、子供たちに、普段から銃が使われる外国だからこそ、守らなければならないルール（身を隠す、声を出さない、犯人の顔を見ない）があることを話しました。そして、それを守ることが、自分の命も友達の命も守ることになることを話しました。いつも子供たちに話すことですが、「避難訓練は、練習で終わることが一番大切なことであること、だからこそ、その練習を本気で行う姿勢や気持ちが大変なこと」を話しました。

